

# 楓葉



【2015年8月 同窓会誌】



独立行政法人 国立病院機構  
横浜医療センター附属横浜看護学校同窓会

〒245-0063 横浜市戸塚区原宿3丁目60番2号  
独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター附属横浜看護学校内  
TEL 045-851-2621 TEL 045-853-8322 (学校直通)  
発行責任者 佐竹 一枝

## 新会長挨拶 2015 横浜看護学校同窓会総会を開催して



独立行政法人国立病院機構  
横浜医療センター附属横浜看護学校  
同窓会会長 佐竹 一枝

同窓生の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日ごろより、同窓会活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

今年度、相原貴美子前会長の後任として会長に就任いたしました20回生 佐竹一枝です。相原前会長には5年の長きにわたり、同窓会活動の充実にご尽力をいただき感謝申し上げます。楓葉祭への参加、会長選出における会則変更など大きな功績を残していただきました。

本同窓会は、平成27年3月50回生卒業生83名を新会員として迎え、会員数1968名となりました。同窓会は、後輩の足元を照らすべく、会則にありますように同窓会員相互の親睦を深めること、交流の場をつくることにありと認識しております。新役員一同、これまで先輩方が築き上げてこられた同窓会の一層の発展に貢献すべく力を合わせ尽力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

さて、去る6月6日5年に一度の通常総会と親睦会を開催しました。前回は、新校舎で初めての総会・親睦会開催でしたが、今年は学校行事と日程が重なりましたので、全国から集う同窓生が港町横浜を懐かしめる様にと、横浜駅圏内で開催しました。同窓生59名の出席、恩師の町田良子先生、音楽講師の佐原裕子先生、講師の金子靖先生・藤津和彦先生にご参列いただきました。卒業年次を超えた交流で盛り上がり、時間を押しての賑わいが続きました。今思い起こしますと、学生のとき実習で、入職して看護実践の場で、生き活きた先輩に囲まれて育てていただいたことに感謝しております。看護学生の確保について量的・質的両面の課題が問われる中、様々な方面へのスキルアップを志向し、ロールモデルとなり、後輩が活躍できる門戸を広げておきたいものです。

最後に、各卒業期の代表を務める幹事の方にお願ひがあります。皆様お忙しくご活躍のことと存じますが、同期同窓会を開いて同級生が集まり楽しい時間を共有していただけると、同窓会がますます大きく膨らみ絆を強めることは間違いありません。2000名近い同窓生をさまざまな医療分野に送り出してきた私達の母校には、立派な歴史があります。今年度は、新たに副会長鈴木雪子さん(19)、会計村松真佐子さん(18)、書記甲田まゆみさん(25)の3名を役員に迎えました。今後、会員の皆様との交流を深め相互に協力し、学校のご協力をいただきながら、母校の発展のため、しっかりした同窓会組織にできるように活動していく所存でございます。是非、ご協力とご支援の程よろしくお願いいたします。



50回生卒業式写真

## ご挨拶



独立行政法人国立病院機構  
横浜医療センター附属横浜看護学校  
学校長 工藤 一大

本原稿を書いているこの時期はまれにみる猛暑が続いていますが、皆様お元気でご活躍のことと思います。

国立病院機構は今年度から非国家公務員型の独立行政法人となりました。病院運営上メリットがあるのかと思いきや、公経済負担と言う基礎年金の国庫負担分と雇用保険が各病院負担となり、さらに消費税増税が加わり、支出ばかりが大幅に増加する事態となりました。職員一同頑張ってはいますが今のところ、支出増には追いつかない状況です。看護学校への補助金も減少の一途で、頭の痛いところ です。

神奈川県は、看護師数が全国でも最低レベルで看護師不足で困っている病院が多いのですが、昨今は毎年看護学校や看護系大学が新設され、受験生の奪い合い状態となり、優秀な受験生の確保に教員は四苦八苦しています。皆様のお知り合い、ご家族などで看護師を目指す方にはぜひ当院受験をお勧めしたいところです。よろしく願いいたします。

今年の夏休みには、妻と山陰地方をレンタカーで旅行してきました。この猛暑の中、日本のマチュピチュと言われる竹田城址見学で山を登ったり、鳥取砂丘を歩いたりして、熱中症予防にペットボトルを何本買ったことか。日本海の海の幸を満喫したり、岡山後楽園ではライトアップされた岡山城を見ながらビアガーデンでビールを飲んだり、心身ともにリフレッシュすることができました。

皆様も時々リフレッシュしながら、元気でご活躍ください。

## 看護学校現況について



独立行政法人国立病院機構  
横浜医療センター附属横浜看護学校  
副学校長 松橋 綾子

同窓会の皆さまには、日頃より看護学校の運営にあたたかいご支援をいただき感謝申し上げます。

平成27年度4月3日（金曜日）は、横浜看護学校第53回生の入学式でした。

今年は、81名の新生を迎え、大型校になり9年目をスタートしました。

医療・看護では、産業・経済の状況により変化する社会の多様なニーズに対応し、質の高い看護師（職業人）の養成が求められています。

横浜看護学校は、昭和50年7月11日、「学校教育法の一部改正案」が成立、専修学校として認定を受け、平成7年には専門士の称号が付与され、平成10年には一定の要件を満たした専門学校修了者への大学編入資格が認められました。また、平成26年には、社会で即戦力となる人材育成を促すため、実践的な教育（実習）に取り組む専門学校への「職業実践専門課程」として認定を受けました。文部科学省の平成27年度の調査では、新規高卒者の大学・短期大学への進学者は54.5%です。専門学校の教育の質と特徴を求められる時代です。

横浜看護学校は、平成23年度より、21世紀の看護師教育へのチャレンジを続けています。看護観の育成への取り組みは、平成26年、27年と学会で報告。平成25年度より取り組んできた「多様化する在宅看護と包括医療制度」の学習成果を今年の学会等で報告出来る状況になりました。また、今年は、横浜医療センターが、地域医療搬送のハブ医療機関として活動される「政府広域医療搬送訓練」に学生が参加させていただく予定です。平成23年度からの夢の実現に一步近づきそうです。

母体病院と同じ敷地にある看護学校としての特色を生かしたカリキュラムを目指し、専修学校自己点検・自己評価の実施から10年、外部評価の実施も3年目となります。自己点検・自己評価と外部評価は、横浜看護学校ホームページに公開しております。今後も学生の自立と自律を目指し、多くの方のご意見を参考に専門学校の特徴を明確にした教育実践を目指します。今年度も人事異動があり、山岸教育主事、木植教員が転勤され、新たに西出教育主事、齋藤教員の2名を迎え、新体制でスタートしています。今後とも同窓会のご支援を頂きながら教職員一同努力いたしますので、ご支援・ご協力をお願い致します。

最後になりましたが同窓会の益々のご発展を祈念致します。

## 2015 総会・親睦会開催

総会 平成27年6月6日（土）11時～12時  
・総会員数1968名中参加者63名  
滞りなく総会を終了しました。

親睦会 平成27年6月6日（土）12時～14時  
・参加者59名（2回生から42回生）  
・来賓4名  
場所 横浜国際ホテル



### 同窓会前会長 17回生 相原貴美子

同窓生の皆様、大変お世話になりました。  
職場で、実習に来た学生と話をする機会が度々あります。私の学校の今昔物語に「へー！」の連続です。今後は職場で、後輩・学生と交流し、同窓会の輪を広めていきます。



### 元教員 町田良子先生

同窓会親睦会に参加して感じたことある程度の年齢になりますと何をしても諦める気持ちが多々あります。とてももったいないことだと感じています。6月の横浜看護学校同窓会親睦会に久しぶりに参加させて頂きとてもうれしく感動致しました。皆さんが各々のセクションで自分の花の咲き方で看護の力を発揮されていることを聞き喜びを感じました。横浜看護学校の卒業生であることに誇りを持ちつづけて頑張っておられる姿でしょうか。この日は有意義な1日で幸せでした。ありがとうございました。



## 元外科医長 金子 靖先生

医療の中で看護師の仕事は習得した高度な技術の提供と対する人への愛情が一番重要であることは当然であります。一方で最も親しかった同窓との連携がとても重要ではないかと思っています。一生を通じて生き甲斐や、この仲間があることの大切さを感じる時が必ずあると思います。私自身同級生や同窓生と親しくしていたお蔭でその恩恵や歓びを受けた事が沢山あります。

「楓葉」を通して、お互いの動静を知り、またその過去を振り返ってみることで人生の喜びを感じて見ては如何でしょうか。

今回の「楓葉」では同窓生の懇親会などの思い出の写真を掲載して自分たちの軌跡を辿ろうという企画であると聞きました。私は事あるごとに趣味とでもいうか記録写真を撮って置いたのですが、在籍していた国立横浜病院や看護学校の変遷や当時の学生たちの研鑽する姿を多数撮っておきました。お見せする機会があれば幸いと思って居ます。

昭和38年秋に発足した当時は国立横浜病院附属高等看護学院という名称でしたが発足して間もなく、秋になると学生自治会主催による学校祭を行うようになっていきます。最初は単に「学院祭」とか「学生祭」等の名前が付けられていたようですが、昭和50年に学校名が国立横浜病院附属看護学校と変更になったころ既に学生祭のプログラムでの表題は「楓葉祭」と書かれるようになっていきます。

同窓会としては「同窓会だより」として交流を図っていたようですが、発刊の都度私にまで送っていただいていた、平成12年発行の「同窓会だより」の中に同窓会としての正式な名称をつけよう

という動きが記載されていましたが、「楓葉」が採用されたのです。古き時代の病院の正門の脇のそそり立つ大きな楓の木があったことに由来するものとのことでした。私はこの楓の下を朝に夕に30年間通ったものです。同窓会誌の「楓葉」という文字を見る度に何時も送り迎えしてくれた此の楓の堂々たる姿を思い浮かべるとともに、この大木のように育ってゆく初々しい看護学生の姿が蘇って来るのです。取り敢えず懐かしき写真を見てください。

2015/08/01

現 大磯介護老人保健施設勤務 金子 靖 (元解剖、外科学講師)



## 元副院長(現脳神経外科医) 藤津 和彦先生



「楓葉」 8/22(火) D.L.  
 人生の半分位の久しぶりにお会いした  
 方々の顔を見て 玉手箱を開けた  
 浦島太郎になった気分がありました。  
 即招待有難うございました。  
 藤津 和彦



鳴り止まないアンコールに追加演奏がありました



乾杯の音頭は2回生の丸貴ミサさん





現音楽講師佐原裕子先生による校歌のピアノ生演奏



5年に1度の総会が無事終了！次回は2020年に開催で～す！☆2020年6月6日（土）☆

## 平成27年度 役員

会長 佐竹 一枝 (20回生)  
副会長 坂口 佳織 (36回生)  
鈴木 雪子 (19回生)  
書記 米澤 繁子 (10回生)  
甲田 まゆみ (25回生)

会計 岩竹 絵美 (42回生)  
村松 真佐子 (18回生)  
会計監査 志村 みどり (9回生)  
濱 法子 (14回生)

## 平成27年度 幹事

|       |        |       |        |       |        |
|-------|--------|-------|--------|-------|--------|
| 1 回生  | 井坂 洋子  | 24 回生 | 崎山 和美  | 44 回生 | 田村 佳代子 |
| 2 回生  | 丸貴 ミサ  | 25 回生 | 甲田 まゆみ |       | 佐藤 春加  |
| 3 回生  | 地蔵 テイ子 | 26 回生 | 長尾 久栄  | 45 回生 | 勝間田 昌寛 |
| 4 回生  | 神代 アキエ | 27 回生 | 富浦 裕   |       | 樋渡 彩子  |
| 5 回生  | 深石 みつ子 | 28 回生 | 木内 由紀子 |       | 寺内 舞   |
| 6 回生  | 井上 ふさ子 | 29 回生 | 小堺 史恵  | 46 回生 | 伊藤 沙織里 |
| 7 回生  | 稲垣 文子  | 30 回生 | 中野 理恵  |       | 小山田 真美 |
| 8 回生  | 曾我 ふじ恵 | 31 回生 | 松岡 康子  |       | 田尻 高基  |
| 9 回生  | 寺沢 秀代  | 32 回生 | 小林 美紀  |       | 中曾根 未央 |
| 10 回生 | 米澤 繁子  |       | 小林 里美  |       | 荒木 大地  |
| 11 回生 | 小泉 由美子 | 33 回生 | 川辺 美里  |       | 坂本 健太郎 |
| 12 回生 | 大幡 洋子  | 34 回生 | 巨瀬 里美  |       | 藤川 仁子  |
| 13 回生 | 市川 美紀子 | 35 回生 | 伊藤 直子  |       | 森 麻美   |
| 14 回生 | 濱 法子   | 36 回生 | 坂口 佳織  | 47 回生 | 早川 敦子  |
| 15 回生 | 関戸 富子  | 37 回生 | 池江 真彦  |       | 村上 裕子  |
| 16 回生 | 寺山 登志子 | 38 回生 | 成田 真代  | 48 回生 | 新沼 美穂  |
| 17 回生 | 杉山 トミ子 | 39 回生 | 佐々木 博之 |       | 平田 彩香  |
| 18 回生 | 村松 真佐子 | 40 回生 | 斉藤 彩   | 49 回生 | 角 俊一郎  |
| 19 回生 | 鈴木 雪子  | 41 回生 | 霜鳥 耕輔  |       | 佐藤 太一  |
| 20 回生 | 佐竹 一枝  |       | 川上 泰史  |       | 久永 菜子  |
| 21 回生 | 加藤 佳代子 | 42 回生 | 岩竹 絵美  |       | 平山 光早  |
| 22 回生 | 江口 裕子  | 43 回生 | 平沙 敬悟  | 50 回生 | 中村 智早  |
| 23 回生 | 小谷 知子  |       | 三澤 宏美  |       |        |

### 《 幹事の役割 》

- 自分のクラスメートの住所把握：変更時や不明者の住所判明時は、役員に連絡。
- 幹事会への出席：年1回（6月第1土曜日）行なわれます。  
事前にハガキで通知しますので必ず出席してください。やむを得ず欠席の場合は、責任を持って代理の出席者を立てて下さい。
- 同窓会事業への参加：同窓会便りの発行等、係りとして役員と共に関わる。  
幹事交代時は、次期幹事を責任を持ち決定し、役員にお知らせ下さい。

### 同窓会の主な活動

- ＊毎月役員会（第1土曜日）
- ＊楓葉祭へ参加(10月31日)
- ＊学校の各行事へ出席
- ＊同窓会誌「楓葉」発行
- ＊3年生への同窓会説明会
- ＊ホームページ更新

### 住所変更届けのお願い

毎年同窓会機関誌「楓葉」を会員の皆様にお届けしております。皆様に届きますよう、改姓・住所変更等ありましたら、同窓会本部までお知らせください。よろしくご願ひ致します。

### 編集後記

今年は50回生83名の新会員を迎え入れました。これは、同窓会として楓葉祭への参加、学校の各行事への出席、3年生への同窓会説明会等の活動に対する皆様のご理解の賜物です。今年度は5年に1回の同窓会総会、懇親会も盛況無事に終了できました。開校50年以上の歴史ある看護学校、そして同窓会をさらに盛り上げるためには、同窓生として縦横のつながりを深めることで、先輩同窓生の皆様のお知恵はもちろんですが、後輩同窓生の皆様の即戦力が必要です。幹事の皆様同窓生の皆様、今後とも宜しくご願ひいたします。

この便りが届く頃は、暑い夏が過ぎ心地よい季節と思います。楓葉祭へぜひ足をお運びください、お待ちしております。

19回生 鈴木雪子